

世界史は暗記だけ？

常識がぶっこわれ  
る世界史の

**勉強正攻法！**

## 著作権について

本冊子と表記は、著作権法で保護されている著作物です。本冊子の著作権は、発行者にあります。本冊子の使用に関しましては、以下の点にご注意ください。

## 使用許諾契約書

本契約は、本冊子を入手した個人・法人(以下、甲と称す)と発行者(以下、乙と称す)との間で合意した契約です。本冊子を甲が受け取り開封することにより、甲はこの契約に同意したことになります。

### 第1条 本契約の目的

乙が著作権を有する本冊子に含まれる情報を、本契約に基づき甲が非独占的に使用する権利を承諾するものです。

### 第2条 禁止事項

本冊子に含まれる情報は、著作権法によって保護されています。甲は本冊子から得た情報を、乙の書面による事前許可を得ずして出版・講演活動および電子子メディアによる配信等により一般公開することを禁じます。特に当ファイルを第三者に渡すことは厳しく禁じます。甲は、自白らの事業、所属する会社および関連組織においてのみ本冊子に含まれる情報を使用できるものとします。

### 第3条 損害賠償

甲が本契約の第2条に違反し、乙に損害が生じた場合、甲は乙に対し、違約金金が発生生ずる場合がございましたのでご注意ください。

### 第4条 契約の解除

甲が本契約に違反したと乙が判断した場合には、乙は使用許諾契約書を解除することができるものとします。

### 第5条 責任の範囲

本冊子の情報の使用の一切の責任は甲にあり、この情報を使って損害が生じたとしても一切の責任を負いません。

## はじめに

こんにちは。ケイト、こと竹内麻菜です。

まずは勇気を出してこの冊子を受け取っていただきありがとうございます。そしておめでとうございます。あなたは正しい判断をし、人生を変える一歩を踏み出したのです。

このレポートに書いていることをあなたが完全にマスターすることで、あなたの世界史の偏差値は爆上がりし、それどころかその技術を他の教科にも応用し全体的な偏差値も上昇させることができるでしょう。

## しかし、なぜ世界史だけ？

そう思った方も多いはず。

他の塾や予備校、勉強法を教えるサイトを見ても世界史だけに特化した世界史の専門塾はなかったですね。

私が世界史に特化した理由はこれだけです。

## 世界史しか教えられないから

不得意な教科を教えられるほどの度胸が私にはありません。しかし、世界史だけであれば、あなたの成績をあげることをお手伝いできる自信があります。

世界史専門塾をつくることになった経緯、それは私の受験生時代の経験がきっかけです。私自身、成績の伸び悩みを経験した受験生の一人です。

高1の時から京大を目指し、コツコツと勉強してきたつもりでした。青春時代、私はハンドボールと勉強に費やし、恋もせず、遊びもしませんでした。

毎日ひたすら勉強しました。これだけやれば受かるだろう、そう信じていました。

しかし私の成績は思ったようにのびません。判定はいつも

## E 判定

私は努力が足りないのだと思い、勉強し続けました。ただ、このときはまだ重要な事実気づいてはいませんでした。

私をもっともショックを受けたのは高3の九月、河合記述模試の世界史の時間でした。

夏休みの成果がでるこの模試。いつもよりも気合いが入っていました。開始の合図があり、ぱらりと問題用紙をめくります。そうして1問目の問題を読み、答えを導きだそうとします。

しかし

あれ？なんだっけ？

分かるはずなのに、思い出せません。

夏休み中、世界史の勉強は必死にやっていました。結果がでなければおかしいと思うくらいでした。また「結果が出ないとさすがにヤバイ。」そう思いながら受けた模試。

なのに全然思い出せないのです。とりあえず. . . 次！プチパニックになりながらも焦ったらだめだと思い、次の問題を見ます。

えーっとたしか. . .

とりあえず、最後の問題までやってみました。すべての問題に着手した後の私の答えは衝撃的でした。

し、白っ

1 問目からでた焦りは止められず、頭の中は真っ白でした。何もできず時間は過ぎていきました。模試が終わり、その帰り道。私はショックで何も考えられませんでした。

塾にも通い、1年の時から勉強に費やしてきた時間はなんだったのか。受験の天王山である夏休みを無駄にして、私は今まで何をしてきたのか。

すべてが嫌になりました。

1日10時間以上勉強し、風呂でもトイレでも勉強し、部活が終わって疲れ果てても、勉強していたのに、努力は報われない。

なにこの世界？真面目にやってきたのに？

模試から数日は勉強が手につきませんでした。本当に京大に行きたいのかどうかも怪しくなりました。1年後、大学生をやっていることすら想像できませんでした。



しかし、自暴自棄になり、自分の部屋で、youtube を回遊していた時にある動画に出会います。この動画の視聴が転機となりました。

内容は偏差値を順調に伸ばせている人にとっては、当たり前なことでした。

しかし、私には新鮮な情報でした。私の中にあった見当違いな公式が、ぶっ壊れました。

そこで、今までにやっていた勉強を振り返ってみました

そら成績上がらんわ、上がるわけないやん

今までの勉強は勉強もどきだったのです。それから、徹底的に勉強法の見直しを図りました。そして、これまでに買った情報商材をデ

一タの山から引っ張りだし、読み直し、自分なりの合格戦術を作ります。

また、勉強法の他にも、生活習慣、集中力について調べ、自分にあったものを見つけます。

今までやっていたことが、ほとんど無駄だったことが分かり、後悔も大きかったのですが、これからやるべきことが分かったことによって、ぱーっと道が開けてきた感覚でした。

これならいけそう！

マーク模試、記述模試、京大模試まで怒濤の模試ラッシュまであと1ヶ月。だらだらしてられない。よし、もう一度頑張ってみよう。

それから1ヶ月。一番出来がひどかった世界史を重点的にアウトプット中心の勉強を進めました。

すると秋の模試ではマーク9割達成！

記述偏差値65！

対策が薄かったため京大模試は、微妙な結果でしたが、8割前後をうろちょろしていたマークと、前回ボロボロだった記述のこの成果は私にとっては快挙でした。爆発的に偏差値が上がったのです。

試験中に問題がすらすら解けた感覚は今でも忘れません。試験中ニヤニヤしていました。一番出来の悪かった世界史は、いつのまにか得意科目になっていました。

世界史の勉強が最も楽しくなっていたんです。この勉強のポイントに気づくのが遅かったというのと、やっぱり要領が悪いという点で、私は第一志望に合格することはできませんでした。

もっと頑張れたらろう、もっと効率的にできたなら、もっと早く気づきたかったと思います。しかし結果は結果。受け入れて前に進むしかありません。

ただ、この受験体験はとてつもなく良い経験になりました。「勉強にはコツがある」ことに気づけたり、より良い生活習慣、勉強習慣の体得ができてたりしました。

京大に落ちたとはいっても、立命館大学（映像）、同志社大学

（文）、関西大学（奨学生）（センター利用だったんですが、どの学部受けたか忘れちゃった...）など受けた私大には全部合格しました。

自己決定能力も高まり、私は自分で進学することを選びました。

(浪人しようかどうかはマジで悩みましたが)

受験を終え、部活の後輩達が受験生になった今、あの勉強のコツをもっと早くに気づきたかったという後悔から、私のように成績があがらずあがき、苦しむ受験生を救いたい、と思うようになり、このような仕事をしています。

京大に落ちたその後

いやね、大学ってめっちゃ楽しいです。好きなこと研究したり、授業飛んでみたり、アカペラづけになってみたり、店長の言葉にむかっついてバイト辞めて世界史専門塾をネットで建てちゃったり。

今は京都大学法学部の編入を目指して勉強しています。

みなさん勉強頑張って早く大学生になりましょう！

世界史の成績だけはあげれるよ

私は京大に合格していないので、あんまり偉そうなことはいえませんが、

しかし、勉強も部活も頑張るあなたを応援したい。

真面目に勉強しているのに成績が上がらない、報われないと苦しむあなたを救いたいです。

私に足りなかったのは、効率的な勉強法だけでした。それに気づくのが遅すぎたせいで、私は京大に落ちました。しかも結果が顕著に出たのは世界史だけでした。

だから「世界史だけなら教えてあげられるよ」

上述したとおり、他の教科を教える度胸はありません。世界史なら、分かりやすく教えます。なぜ世界史の成績が上がらないのかも、どうやったら上がるかも、ちゃんと分かります。

私の後悔を踏み台にあなたには合格をつかみ取って欲しい。勉強に関する持てる知識をこのレポートに詰め込みました。

## 世界史の勉強正攻法

さて、自己紹介が済んだところで世界史の勉強法それも正攻法を紹介していきます！しっかりマスターすれば3ヶ月後には偏差値10upです！それではいきます。

## 目次

世界史の勉強法の全体像

理解・整理が超重要

理解を100%生かすための暗記

仕上げの定着とあぶり出し

結局世界史の勉強のポイントはなんなのか。

世界史はなぜ学ぶのか知る





まずは世界史の勉強はどのように進めていくべきかを説明していき  
ましょう。旅に出る前に地図を見る感じですね。

世界史の勉強は、このように進んでいきます。

理解→暗記→仕上げ

単純明快でしょ？

でも、成績が伸びない人はどこかに穴があるのです。

「理解、暗記、仕上げとかそんなわかりきったこというな。」と思  
うかも知れませんが、そういう人ほど分かった気になった勉強や、  
やった気になっているだけの勉強になっています。

それではひとつずつ解説していきます。もう勉強法で迷うのはおし  
まいです。これが正攻法。頑張ってください。

理解・整理が超重要



「世界史は暗記」と多くの方は思い込んでいますが、半分合っていて、半分間違っています。

確かに世界史は暗記していないと、試験で困ってしまいます。暗記が必要なのは確かです。

ただし、暗記というのは**理解力ありき**なのです。

暗記というと丸覚えのイメージが強く、それが「世界史は暗記」という解釈の間違いを呼んでいます。

「世界史は丸暗記すりゃ点取れる！」と思い込んでいる人が「世界史は暗記」とさげんでいるのが現状なんですね。

理解力があれば、暗記が楽になりますし、しっかり世界史のストーリーを理解していれば重要な年号以外の細かい年号の暗記は不要です。

## 理解するための勉強法

ここからは理解するための勉強法を詳しくお伝えします。

## 教科書は使わない

世界史の成績が伸び悩んでいるのなら、**この時点では教科書は使わないで下さい。表現が硬すぎて飲み込みづらいから**です。この段階では、世界史の内容をかみ砕いて伝えてくれる参考書を使用します。

オススメするのは、**ナビゲーター世界史**です。内容がずっと入ってきます。別冊のチェックテストも魅力的です。ただ、参考書には合う合わないがあるので、本屋に足を運んで本を手にとって自分の目で確かめるようにして下さい。

参考書でもちょっと難しいと感じるのならまずは漫画からいきましよう。さらっと読んで大筋をつかみます。

予備知識をつけるためなので何周もしなくて大丈夫ですよ。覚えよう覚えようではなく、こういう話なんだーという姿勢が良いです。

漫画で大筋がつかめたら、いよいよ参考書に入っていきます。

その前に、授業はだめなの？という質問が上がってくると思います。

結論から言って大丈夫です、が

あなたが高校3年生であるか、難関校を志望している場合は学校の授業に頼り切るのは辞めましょう。

勉強は**独学**が本来のあり方です。

授業は、補完のため、いわばサプリメントなので、授業に頼り切る  
のはオススメしません。

予備校の授業やスタディサプリの授業を先行させ、しっかり理解、  
暗記をして、その後で学校の授業を復習として用いるのは OK です  
よ。

さて、参考書を読んでいきましょう。

分からない部分は印をつけ、

「なるほど、この人がこうしたから、この事件が起こったんだな」という風に、能動的に整理しながら読むというのがポイントです。あとで詳しく解説します。

一周が終わったら二周目に入ります。

前回分からなかったところを重点的に、やはり**整理**を中心に読んでいきます。分からないところがなくなり、一周するのが苦じゃないなど感じるようになったら、次の「暗記」パートに進みます。

ナビゲーターは4巻にわかれています。私は1巻ずつやっていくのをオススメしています。

4巻すべてを一気にやろうとすると、周回がしづらくなるばかりか、最初の方に読んだ内容を忘れてしまうからです。



つまり、勉強の進め方としては、

1巻の理解→1巻の内容の暗記、2巻の理解→2巻の内容の暗記、3巻の理解、1巻の内容の復習. . .

という流れになりますね。

はい、勉強の流れを説明してきましたが、読んでいく上で絶対にやってほしいことがいくつかあります。

これをやらないと「何周もやっているのに全然身につかない。」

「説明しろって言われたらちょっと無理」という、勉強しているのに成績が上がらない状態に陥ります。

## クイズを作る

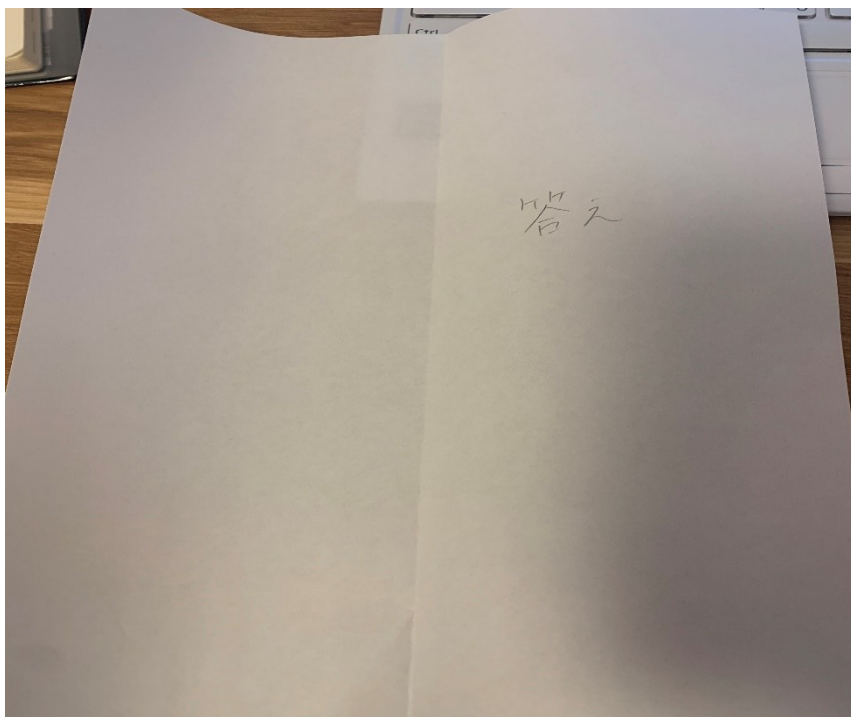
読み進めながら、読んでいて気になったことや、どうして、なぜそうなったのかを中心に自分だけのクイズを作って下さい。

成績の上がる勉強法の根本は **アクティブラーニング** なのです。

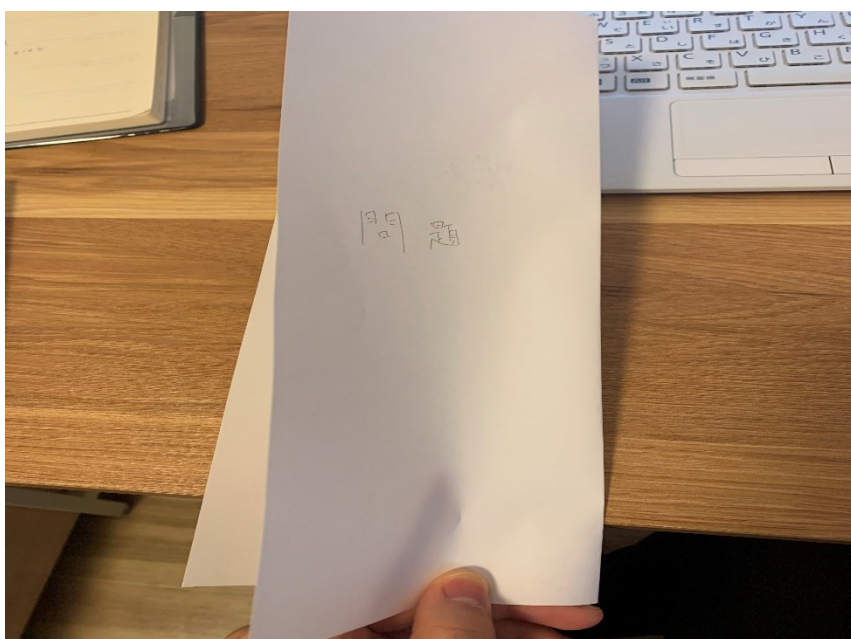
しかし、これは学校は教えてくれません。だからこの冊子を手に入れたあなたは、他の受験生の前を走っていることになります。

クイズを作ろうとすることで、何で？ どうして？ という問いかけが自然にできるようになります。世界史は暗記だ！ インプットだ！ といって、何度も参考書を読んでも、全然頭に入らないのは、受動的な勉強だからなのです。

クイズが作れそうだなと思ったら、参考書は一回閉じ、頭の中でクイズを作り、その答えを半分に折った紙に書いて下さい。



書いたら、その面の裏に問題を書き出します。



これで自分専用の問題集完成です。

単語カードに書いても良いですよ。持ち運びがすごく楽ですし、復習が苦になりません。

読み終えた後は、少し脳を休ませてからクイズを解いてみて下さい。

このクイズは頻繁に解いて欲しいと思います。なぜならこれが定着の鍵だからです。

読んだ日の夜に必ず思い出す作業をする

これは、暗記の助けにもなりますし、クイズと同様にあなたの成績アップの鍵ともなる重要なパートです。

一日何章読んでも良いですが、読みっぱなしは時間を無駄にしたも同然です。

読んだ内容をしっかりと血肉にするには、アウトプットが肝心なのです。インプットはアウトプットをしないとやったことになりません。能動的になりましょう。

じゃあどんなアウトプットをするかといえば、読んだ日の夜に「今日はどんなことを学んだかな」と、読んだ内容を思い出し、親や兄弟に世界史のストーリーを簡単に説明してみてください。友達に説明するつもりでも良いですよ。教えようとするのが肝心です。

一回やってみると分かりますが、びっくりするほど覚えていません。

思い出そうとすることは、結構苦しい、脳に負担がかかることなのですが、その分記憶に残って、覚えやすくなります。

覚えてない、悔しいという感情は、記憶にとっても良い影響を及ぼすので、覚えていなくてもへこまなくて大丈夫です。思い出そうとする作業が終わったら、しっかり確認してください。

教えようとすることで、能動的に読めますし、思い出せなかったことで、記憶に刻み込みやすくなります。

また、この復習は、自分でタイミングを決めてやって下さい。

2日後、1週間後、2週間後、1ヶ月後など、インターバルがあるととても良いです。

習慣になってくると、はやく思い出せるようになって快感ですし、結果的に時短になっているので、効率が爆上がりします。

これと同時に自分で作ったクイズもやって下さいね。

次の日はテストをする

前日にやったことを覚えているかテストすることで、抜けを確認することができます。

別冊のチェックテストを用いますが、無くても大丈夫です。

自分でつくったクイズか、薄っぺらい穴埋め問題集を買って代用します。スピードマスター世界史問題集や、書き込み教科書詳説世界史Bあたりがオススメです。

これも、思い出そうとする際の、覚えてない、悔しいという感情を利用した、記憶の定着の方法です。

記憶の定着には、その事柄に何度も触れた方がいいとよく言われますが、それを勘違いして迷走する人もよくいます。まとめノートをぼんやり眺めたりとかね。（私です）

何かを覚えるにはアウトプット、それも脳を苦しませたアウトプットが一番です。これが上手く取り入れられている人は、だらだらと長時間勉強したりしません。

周回にこだわらない

注意して欲しいのが「周」にとらわれないことです。この理解パートでは「話の理解」が目的です。何度も繰り返すのは大切ですが



「3周」やるのが目的になってしまうと、理解が不完全に終わってしまう可能性が大です。

全部吸収するまで使って下さい。

## 理解を100%生かすための暗記



理解パートをしっかりやってくれたのなら、暗記パートは少し負担が減ります。理解した事柄を身につけるための暗記ですが、理解、復習がきちんと行われていれば、暗記の手助けにもなるからです。

さて、この暗記パートでは、**問題集**を用います。最初は一問一答と呼ばれるものが良いですね。

これも本屋に行って、自分のレベルに合わせた、自分にやりやすそうなものを買って下さい。

学びはじめたばかりの人は特になるべく薄めのものを選びましょう。

問題を見て「行けそう！」と思ったら、分厚めでも結構ですが、挫折しやすいので注意です。

問題集の基本的な進め方としては、

解く→合っていたら○をつける→3つつくまで繰り返す

というものです。ここで大事なのは**ストーリー**を思い出しながら解くことです。

3つついた後も、さらっと確認ぐらいはするようにしてください。

書く？書かない？

解く際には、字を空に書きながら解いて下さい。鉛筆で紙に書くと時間ロスになりますし、空に書くときと、紙に書くときの脳への定着の仕方はそんなに大差はありません。

答えは分かっている、字を間違えたら字を書けるように練習しますが、その際は、実際に紙に書いて、顕在化させます。

空に書くのは、曖昧になることが多いからです。特に複雑な感じは目に見えた方がいいので、漢字を覚えるときは紙と鉛筆を使いましょう。

ということで、

用語を覚える時→空に書く

字を覚える時→紙に書く

で行きましょう。

また、一冊目は、理解用の参考書と同時進行で行います。完了してしまっただころでも、クイズを解いたり、定期的にメンテナンスしたりして忘れないようにします。

やり終わってから2日後、2週間後、月末というようなペースでやっていくといいでしょう。自分の好きなペースを見つけて下さい。

一冊終わったら、ステップアップしていきます。基本→応用→発展と段階を踏んでいくのが理想ですが、試験までの期間を考慮して、解く問題集を決めて下さい。

#### 仕上げの定着とあぶり出し



shutterstock.com • 1053664751

暗記パートが終了したら、仕上げに入っていきます。使うのは、センターの過去問、志望校の過去問、模試の過去問です。

過去問を解く際に

過去問を解く→答え合わせ

で終わっている人が多く本当にもったいないと感じています。しかも一回しかやらないという、、、

過去問は分からないところをあぶり出すために使います。問題を解く際は、確信を持って答えを導きます。

少しでも知識が怪しければマークをつけておいてください。

一問一答は完璧！と思っけていても、過去問をやってみると意外と「あれ？どうだったっけ？」となることが多いです。

解き終わったら、答え合わせ、そして解説を読みます。この時にじっくりじっくりなぜこの問題はあやふやなのかというのを考えてください。

やっていると「東南アジアの整理ができていないな」とか「同年代史が苦手だな」「中国の制度史が苦手だな」というのが、分かってきます。

自分のウィークポイントが分かったら、それをなくす作業に入ります。分からない部分を**整理、理解**し、覚えて解けるようにします。

つまり理解パートに戻るわけです。この理解パートでは教科書を使っても大丈夫です。参考書には載っていない事項もあったりするからです。



整理が足りていない場合は、**ノートに自分で書き込んでいって下さい**。そして、クイズをつくり、そのノートを毎晩復習します。先ほど紹介した思い出す作業ですね。

なにが書いてあったか思い出せるようになったら、その事項は頭の中で整理整頓されているでしょう。

同年代史が苦手であれば、「**ヨコから見る世界史**」がオススメです。同年代史が上手く整理されていますし、世界史の理解に必要なストーリーも含まれているので大変便利な一冊です。

年号は？

年号の暗記を必死にやる人がいますが、年号の暗記は補強程度にや  
って下さい。年号は問題を解く際に助けにはなりますが、あんまり

年号の暗記に勉強が偏りすぎると、よこのつながり、縦のつながりが分からなくなります。

必死に年号を暗記しているのに、全然解けない、という最悪の状態に陥るので注意が必要です。

論述がある場合は？

論述問題は、何が問われているかを見抜く力、何を書けばいいか選ぶ力、書く力の3つが必要です。しかし、そんなに難しく考えなくても大丈夫です。論述問題は、この最初の二つの力が付いていればあとは書く練習をするだけです。

対策をし始めるタイミングとしては、理解と暗記で、教科書に書いてあることを説明できるレベルまで達した時ぐらい。

短めの論述から練習できる参考書を使います。自己採点できるものがおすすめです。いちいち先生に見せに行ってもらえないですからね。

## 勉強の進め方

問題を見て、何が問われているか、何を書けばいいかを考え、まずは構成を書き出します。

例えば、十字軍の目的、経過と結果、影響を論述しなさい。

何が問われているかをまず考えます。問題を出す側は何を求めているか。そうですね。十字軍をしっかりと理解しているか、です。

問われていることが分かればあとは、

セルジューク朝

クレルモン公会議

聖地の奪還

第一回は…

などと知っていることを書き出していただけます。

注意して欲しいのは、いきなり書き出さないことです。いきなり書き出すと絶対に問われていることを見失った、おかしい答案になります。

だから書き出す前に、答えになりそうなワードや文を書いて構成します。

頭で考えていることって結構ぼんやりしていますが、書き出してみるとスッキリして考えやすくなります。

もしも、何を書けばいいか分からないのならば知識不足なので、整理、理解、暗記に戻って勉強して下さい。

構成がしっかりできたら、一気に書いていきます。「です。ます。」ではなく「である。」を使い、途中で急に「ですます」が出てこないように気をつけてください。

文章を書く際は、なるべく短い文で、主語と述語がはっきり分かるようにして下さい。何が書いてあるか分からないと減点されます。

答え合わせをし、自分に足りていない部分を見つけ出します。知識の補強や問題点の克服をし、それが終わったら、もう一度解きます。

こんな風に論述問題の練習を進めて、穴があれば知識を補強するというのを繰り返して下さい。

慣れてきたら、過去問に着手します。過去問を演習した後は、学校の先生に添削してもらいます。

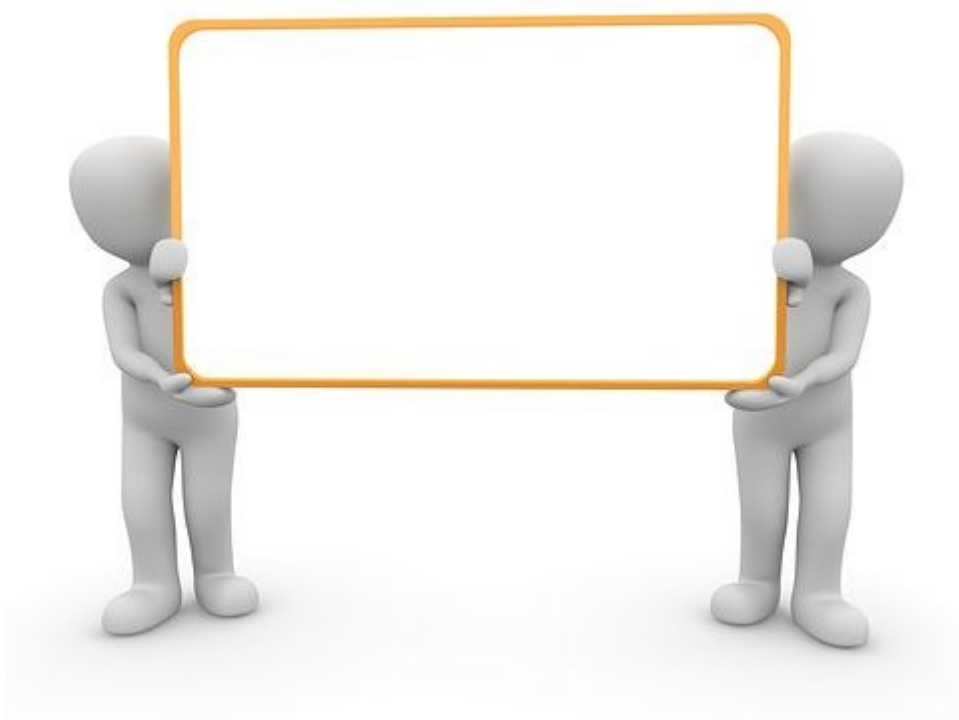
添削は今まで気づかなかったことに気付けるので非常に有効です。  
先生に頼みに行くのが苦手な人はオンラインで添削をしているサイトもあるので、そちらを使って下さい。間違っても解きっぱなしは辞めましょうね。

添削してもらったら何が欠けているのかをしっかりと把握して、それを克服（整理、理解、暗記）し、過去問をもう一度解きます。

どんなに血迷っても、**模範解答のまる覚え**はやめて下さいね。それしか解けない状態になりますし、試験に同じ問題は出ませんから。

これを繰り返していけばあなたは論述問題に強くなり、誰よりも楽しく解けるようになります。問題を見たら、書くべきことがパーツとかんでくるからです

結局世界史の勉強のポイントはなんなのか



結局世界史の勉強において大切なのはなんなのか。



これ、**超重要**です。

これを知っておくと、他の教科の勉強にも役立ちます。

もったいぶってもしょうが無いので言ってしまうと、**単純化**と

**視点の転換**です。世界史の勉強のイメージである「暗記」

はこの二つの補助的役割を担っているだけです。

単純化

単純化するとは、教科書で説明された事項を「**要はこういうこと**」

に変換する作業です。単純化は理解に直結します。

その前に、先ほどから理解が重要という話をしていますが、理解ってなんじゃという話ですよ。

理解しているとは、例えば、カリフってなに？と聞かれた時に、「ムハンマドの後継者でイスラーム教の権威だよ。」というふうに簡潔に答えられる状態のことです。

「十字軍ってなんで起こったの？」のような、流れや出来事も、要約して人に説明できるというのが理解です。もうお気づきかもしれませんが、

「理解できている＝単純化できている」

という公式ができるんですよ。

教科書の目次、または索引のページを開いて、目に入ったものを説明できますか？

もしも単純化できなければ、**理解**が足りていません。もちろん、用語を覚えるというミクロな暗記も必要です。しかし、世界史の勉強がそれだけになってしまうと、論述問題、説明問題に対応できずに頭打ちになってしまいます。

志望校の試験に論述問題、説明問題がなかったとしても、物事の繋がりがや国家間の関係を知っているか知っていないかだけで、用語の覚えやすさも雲泥の差になってしまいます。

理解パートで**アクティブラーニング**をしようと言ったのは、この単純化ができるようになって欲しいからなんです。クイズや、思い出す練習は内容が理解できていないといけませんよね。

この単純化ができるようになれば、復習回数を少ない時間で増やせます。単純化の大事さが分かっていただけましたか？

しかも数学や理科の理数系教科、国語、英語、人に話をする時にも役立つコスパ最強の技術なんです。

例えば数学だったら、具体的な問題ばかり解けても意味がなくて、基本的な公式の運用が重要ですよね。

本番の試験では、問題集と同じ問題は出ないわけで、「要はこうだよね」という抽象的なことが分かっていないと、どれだけ問題集をこなしたとしても解けない訳です。

枝や葉っぱを生やすことが重要なのではなく、木の幹をしっかり捉えておくことが肝なのです。

また国語や英語でも、読んだ文章を要約する問題が出ても、「要はこうだよね」という単純化ができていれば、ポイントをとらえた要約ができます。

さらに、人に話をする時も、伝えたいことがはっきりしているの  
で、「結局なにがしたいの？」と言われずに話ができるのです。  
単純化はどの教科にも応用可能だということが分かっていただけ  
ば、あなたの他の教科も伸びる可能性があります。

視点の転換は、仕上げのパートで使っています。単純化できて、しっかり説明できる人でも、じゃあこの制度史は？農業史は？と聞かれたら、口ごもっちゃうんですよね。

だから、仕上げのパートで問題演習をして頂くことで、こういう視点もあるのか、と気づき、異なった切り口で勉強を進められる訳です。

それに加えてもう一つ話したいことがあります。それは、問題を出す側の視点に立ってみるということです。

論述問題の対策のところでも言いましたが、大学側は何を答えて欲しいんだろうと考えてみるのが答えを出す上で重要なんです。

暗記科目としての世界史はこの視点の転換を忘れがちです。

しかし、日頃から「これとこれの違いは問われそうだな」とか「ここ混乱しやすいから先生出してくるかな」とか、

思いながら勉強していると、論述問題だけでなく、一問一答のような問題形式の試験でも、答えやすくなるんです。

何が言いたいかというと、日々漫然と読んだり、アウトプットするのではなく、考えながら勉強して欲しいのです。

考えながらは疲れます。しかしこれは、濃密な勉強ができれば1日3時間でも合格するというようなことが言われる所以なんです。

読む系の参考書を読む時も、

この一周は内容を大体掴むために読もう、

この一周は繋がりを意識しよう

この一周はあやふやなところを重点的に読もう

この一周は制度を中心に追おう



この一周は違いを意識しよう

など、毎回視点を交えて目的を持って読んで下さい。

問題集でも同じです。そういう風に視点を交えて行くことによつて、視野が広がります。

そこで最初の話に戻ってくるわけですが、視野が広がると、読む時に制度史や農業史にも注目できていくんです。

視野を広げるという意味で問題演習をしてもらうのですが、やっぱり気づかなければ「間違えちゃった」で終わってしまうんですね。

「間違っちゃった。なんで間違えたんだろう。制度があんまり理解できていないな。じゃあ、制度の移り変わりという視点でナビゲーターを読んでみよう。」ここまで考えて欲しいのです。

また、この視点という概念も他教科やビジネスなどに応用できます。

大学側は何を求めているか考えるというのは、大学受験全般に言えますし、問題文を正確に読み解いて、何を答えて欲しいか掴み取るというのは、答えを出す上での前提条件ですよ。

ビジネスにおいても、お客さんは何を求めているんだろうということを考えられないと、お金儲けできないわけです。

このように視点の転換は重要であり、視点の転換を癖づけるには、  
「何を求めているだろう」と考えることが重要なのです。

まずは問題演習で視点の転換に慣れて、その後で考えることを意識  
してみてください。

世界史はなぜ学ぶのか知る

世界史ってなぜ学ぶの？

一回は誰しも思います。なぜ過去の兄弟喧嘩や殺し合いを知る必要  
があるのか。

知る必要はあります。

現状の国際関係を把握する上で、世界史はめっちゃくちゃ重要になってくるからです。

立命館大学の国際関係学部での授業では、必ずと言って良いほど、世界史が出てきます。

過去に何があったか知らないと、いまどうなっているのか把握するのは困難です。

顕著なのは中東とアメリカの関係です。

アメリカがイランの司令官を殺したニュースありましたよね。アメリカとイラン、イラクの関係は1950年くらいから遡ってみていかないと、理解できません。

ここからは興味があれば読んで下さい。

1953年、イランの石油はほとんどイギリスの支配下にありまし

た。イラン人は石油の恩恵を受けていなかったのです。

そこで、モサデグという人物が石油を国有化しようとする、米英

はクーデターを起こして、モサデグを失脚させてしまいました。

アメリカを後ろ盾にトップについたのが、パフレヴィー。それに対

して、意義を唱えたのがホメイニというイスラーム教の指導者であ

る人物です。

しかし彼は、パフレヴィーによって国外に追放されてしまいます。

1973年、抑圧に怒った民衆が暴動を起こし、ホメイニがパリから帰還。今度はパフレヴィーが国外に逃亡します。この出来事をイラン革命といいます。

イランはイスラム共和国になり、ホメイニがトップにつきます。このイランでは、反米感情を抱いていました。

パフレヴィーは病気のためアメリカに入り、それがイランの人々を怒らせます。

1979年、アメリカ大使館でホメイニ派の人々が、大使館の人々を人質に取ります。

これに対しアメリカは、イランへ制裁を実施するのです。

1980年、イラクがイランに侵攻し、イラン＝イラク戦争が勃発します。アメリカは、イラクをどんどん援助しました。

その後、関係はさらに悪化し、イランはアメリカとイスラエルを敵国とするようになりました。

アメリカはイランの旅客機を撃ち落としたり、イランは核を持った悪の枢軸国などと呼び、制裁を下します。

こうした関係の悪化の中で、2020年、イランの英雄である司令官をアメリカが殺害するという行為は戦争をふっかけているようなものです。

このようにアメリカと中東の関係を見るだけでも、世界史が役立つことが分かります。

日本は衰退途上国ですし、これから海外に行くことも増えます。だから、しっかり現状を把握しておいて欲しい。だから、世界史を今のうちに身につけておきましょう。

## 最後に

よくぞここまでたどり着いてくれましたね。素晴らしい。

実践しながらだったり、読んでからやってみようだったり、人によって色々だとは思いますが、最終的に行動による **アウトプット** がなければ意味がありません。

しかし、あなたは行動してくれると信じています。こんな長い冊子を読んでくれたのですから、十分な行動力があると思います。あと一歩です。



行動した後、**あなたがどの道を歩むことになったとしても、悔いは残りませ**  
**ん**。自分がとったプロセスを振り返り、次に生かすことができるようになります。  
す。

仕上げにアウトプットしましょう。成績の上がる人は、すぐにアウト  
プットします。以下のアンケートに答えるだけで、マインドセッ  
トに関して書かれた冊子を一足早くゲットできます！チャンスは自  
分で見逃さないでください。信じています。

<https://forms.gle/GsdHe64WtXuRcDR68>